

新しい年のスタートに



明けましておめでとうございます。令和5年元旦の朝は、空気はひんやりしていましたが、風もなく雲一つない青空になりました。こんな1月1日は滅多にありません。元旦祭の神事を区で執り行いましたが、令和5年が北久原区にとっても区民の皆様にとっても素晴らしい年になることを祈願している間、「吉兆」という文字が私の頭の中に浮かんでいました。

さて、お正月の定番と言えば箱根駅伝があります。2日間にわたって片道100kmを超える距離をタスキをつなぎながら走りぬきます。シード校であっても予選会からの出場校であっても、長丁場ゆえにさまざまなドラマが生まれ順位の変動があり、ついつい時間が経つのを忘れて見入ってしまいました。ところで、今年の大会は昨年度までとは違う盛り上がりがありました。それは、沿道での応援の自粛がなかったので、多くの人が沿道に詰めかけ通過する選手に声を掛けたり拍手をしたりする姿がたくさん目に入ったからです。多くの声援を受けると選手は力走し、沿道の人たちもさらに応援に力が入るという相乗効果がありますよね。

ところで、元旦祭の後に開催された北久原区一周元旦マラソンでも、幼児からお年寄りまで多くの方が参加してくださいました。皆さんがあな気に走っている姿を見て、区内の皆さんも今年一年の元気をもらえたような気がします。ゴールになった公民館には走り終わった方や応援をしたご家族が集まりましたが、令和4年度の行事の中でこれほど多くの区民が一堂に会したことがありませんでしたので、たくさん集まった人を見てとても楽しい気分になりました。

まだまだコロナと共に存しながらの区運営になりますが、令和5年度には多くの区民の方が楽しく集えるような事業・行事を展開できるよう準備をしていきたいと思います。卯年の一年が区民の皆さんのが飛躍できる良い年でありますようお祈り申し上げます。



神社を元気よく飛び出していくランナーたち